

ASABAのミニタンク車

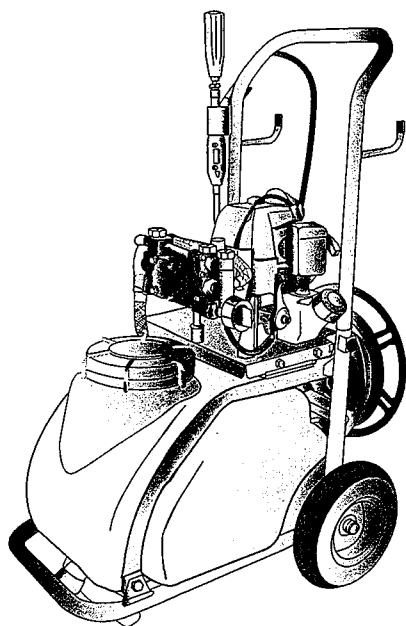
30Lタンク車&エンジン動噴巻取機付

型式：AT-300SM

- ☆このたびは本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
- ☆この取扱説明書には、安全に使用していただくための要点を記してありますので、ご使用前に必ずよくお読みになり、正しくご使用ください。
- ☆お読みになった後は、いつでも読める場所に保管してください。また、本書を汚損したり紛失した場合は、お買い求めの販売店にご注文いただき、大切に保管してください。

目次

◇安全のために必ずお守りください… 1
全般
作業前
農薬・薬液の取り扱い
作業中
作業後と保管
◇梱包部品一覧…………… 3
◇仕様…………… 3
◇各部の名称とラベル貼付位置…………… 4
◇ポンプ及び噴口性能表…………… 4
◇運転を始めるまえに…………… 5
◇運転…………… 7
◇整備と長期保管…………… 9
◇故障と対策…………… 10
◇保証書…………… 11



ASB 株式会社 **麻場**

〒381-8530 長野県長野市北長池1443-2
TEL：026-244-1317
URL：http://www.asaba-mfg.com

◀ はじめに ▶

本書に記載した ⚠ の表示のある注意事項や、機械に貼られた ⚠ の表示のあるラベルは、人身事故等の危険が考えられる重要な項目です。よくお読みになり必ずお守りください。

なお ⚠ の表示のあるラベルが汚損したりはがれた場合は、お買い求めの販売店にご注文いただき、必ず所定の位置にお貼りください。

本書に記載した ⚠ の表示のある注意事項や、機械に貼られた ⚠ の表示のあるラベルでは、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について、次のように3段階に分けて表示しています。

- ⚠ 危険…その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うこととなります。
- ⚠ 警告…その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があります。
- ⚠ 注意…その警告文に従わなかった場合、けがを負う恐れがあります。

また、製品の故障や損傷につながる使い方に関する注意事項については、本書に **重要** の表示を用いています。

◀ 安全のために必ずお守りください ▶

★ 全 般

- 注意** ⚠
 - 本製品は、弊社小型動力噴霧機を搭載した、散布・散水作業車です。
 - この製品を他人に貸与または譲渡する場合は、必ず取扱説明書を添付し、よく読んでから使用するよう指導してください。
 - 安全性を損なう恐れがありますので、改造しないでください。

★ 作 業 前

- 危険** ⚠
 - 火災の危険性がありますので、燃料補給時は次の項目を必ず守ってください。
 - ・燃料はエンジンを止めた状態で補給してください。
 - ・燃料補給時は火気に充分注意してください。
 - ・高温部に燃料がかからないように補給してください。
 - ・燃料タンク給油口一杯まで燃料を入れしないでください。
 - ・燃料がこぼれたらきれいに拭き取ってください。
 - ・燃料補給後、燃料キャップは確実に閉めてください。
 - 使用時は燃料がこぼれたり、本機が転倒する恐れがありますので、本機は凸凹のない平らな場所に設置してください。
 - 薬液タンクに薬液を入れた状態で、自動車などで運搬しないでください。薬液が漏れる可能性があります。自動車などで運搬する時は、薬液を抜いてください。

- 注意** ⚠
 - 次に該当する方は、この製品を使用しないでください。
 - ・酒気をおびた者
 - ・過労、病気、薬物（農薬を含む）の影響その他の理由により、正常な防除作業ができない者
 - ・妊娠中の者
 - ・満15歳未満の者
 - ・負傷中の者、生理中の女性等農薬による影響を受けやすい者
 - 作業前に燃料もれがないこと、接続部のパッキンに脱落がないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等各部に異常がないことを確認してください。
 - 吸水ホース、余水ホース、吐出ホースはエンジン高温部に触れないで、無理な曲げ、よじれ、折れ、引っ張りがない事を確認してください。

★農薬・薬液の取り扱い



注意

- 防除、除草用の農園芸用薬品の散布、散水用途以外には使用しないでください。
- 調合が適切でない薬液は、作物を傷めるだけでなく人体にも有害になる恐れがあります。薬液の調合の際は、農薬の使用上の注意をよく読み、正しく希釈してから使用してください。
- 農薬は必ず専用の保管箱に鍵をかけて保管し、絶対に食品や食器と一緒に保管しないでください。
- 農薬の誤使用、誤飲の危険がありますので、絶対に別の容器に移し替えないでください。
- 農薬の空容器は、薬品メーカーの指示に従ってその都度正しく処分してください。空容器を洗った水は、薬害のない方法で処分してください。

★作業中



警告

- 農薬の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。
- 運転中および停止直後のエンジン（マフラ等）は高温になっています。やけどをする恐れがありますので不用意に触れないでください。
- ハウス内での使用は、人体に悪影響を及ぼす恐れがありますので、よく換気をしてください。



注意

- 薬液が水道、河川、水源地、池、沼、下水等を汚染しないように、また、人体や散布対象物以外のものにかからないよう、風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。
- 作業中、作業後にめまいや頭痛を生じ、または、気分が少しでも悪くなった時は、直ちに医師の診察を受けてください。
- 作業中に噴口部を清掃、または、交換する時は、顔面などに薬液がかかる恐れがありますので、吐出ホース先のボールコック及び噴口を閉じ、必ず調圧弁ダイヤルを『始動：0』の位置に合わせて、エンジンを停止してから行ってください。
- ホース類は無理な曲げ、よじれ、折れ、引っ張りがないよう注意して作業を行ってください。
- ホースの温度は40℃以下で使用してください。40℃以上になりますと耐圧性能が低下します。

★作業後と保管



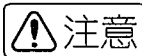
注意

- 前回使用した薬液がタンク、ホース、噴口等の内部に残っていると薬害を起こす危険性があります。残っている薬液を十分に洗い流してください。
- 余った薬液及び機械の洗浄水は、水道、河川、水源池、池、沼、下水等に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。
- エンジンを停止してもポンプ～吐出ホースに圧力が残っていることがあります。この状態で接続部を取り外すと、薬液が噴き出す恐れがありますので、接続部を外す前に周囲の状況を確認し、吐出ホース先のボールコック、及び、噴口を開いて、ポンプ～吐出ホース内の圧力を抜いてください。
- ホース内の残液を空にして、巻取機に巻いて保管してください。そのままにして置きますと、ホースの寿命を短くする原因になります。
- 作業後は手足はもちろん、全身を石鹸でよく洗うとともに目の水洗いとうがいをしてください。また、作業期間中は衣服を毎日取り替えてください。
- 使用後は充分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。

◀ 梱包部品一覧 ▶

最初に梱包部品が全部そろっているかどうか、輸送中の事故で破損している部品がないかを確認してください。もし、欠品、または、破損などありましたら、製品名、型式、製造番号と共にお買い求めの販売店にお知らせください。
保証書は、お客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は、大切に保管してください。

品名	数量	本体部一式組付部品	
本体部一式 (エンジン、ポンプ、巻取機、薬液タンク付)	1	本体部一式組付部品	ホースより戻しG1/4
六角レンチ	1		ボールコック6G1/4
プラグレンチ	1		余水ホース (10×0.23mクランプ付)
ハンドル	1		余水ホース (10×0.65mクランプ付)
巻取機取手一式 (軸×2、取手、トラズ×2)	1		吸水ホース (12×0.55m金具付)
スーパージェット1型 500mm G1/4 (噴板穴径1.2)	1		吐出ホース (7.5×20mG1/4金具付)
取扱説明書 (本書)	1		接続ホース (7.5×0.4m金具付)
保証書 (本書末尾)	1		吸水ストレーナ13
			吸水ストレーナ押さえバネ



注意

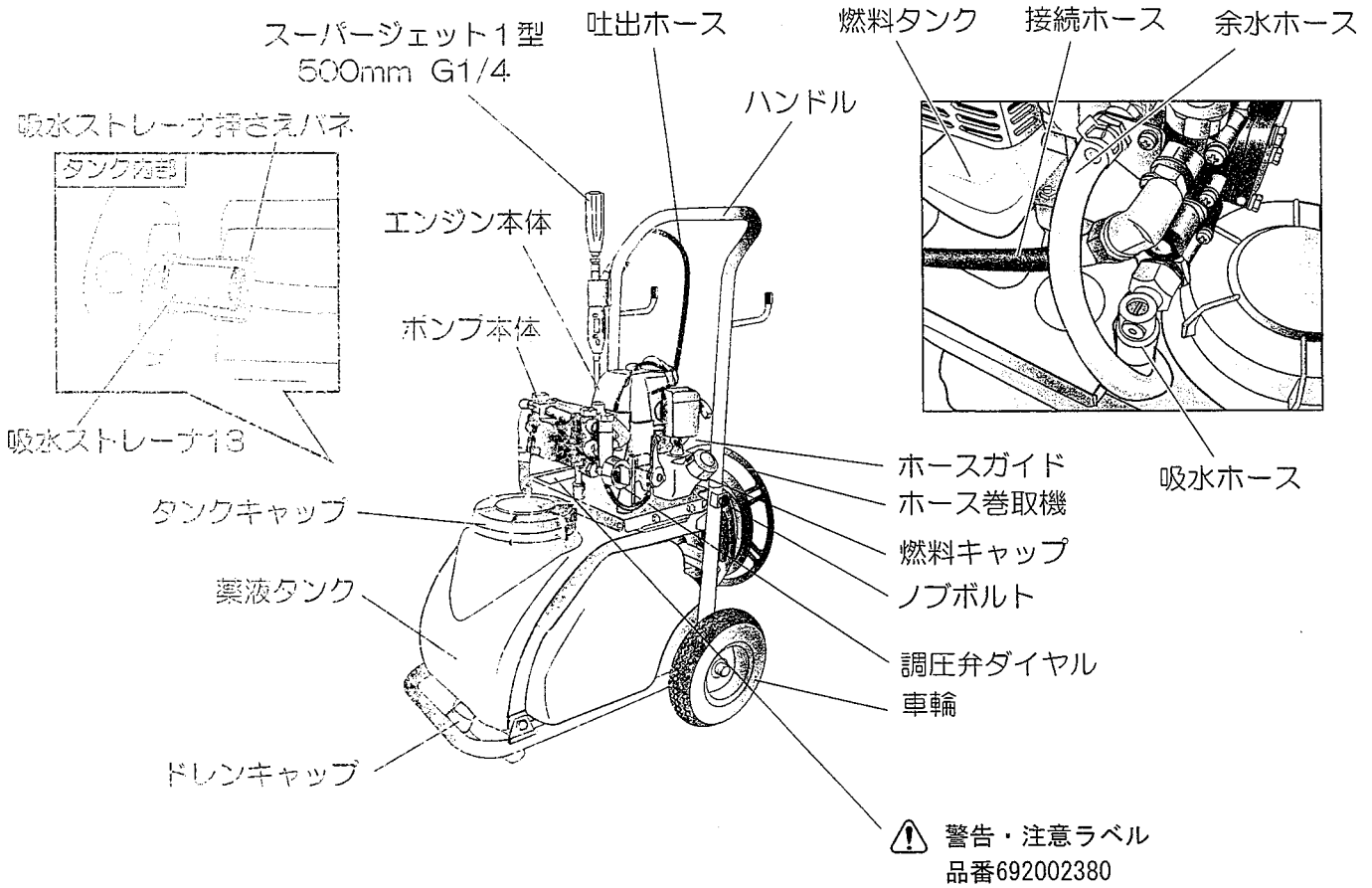
吐出ホース、巻取機、スーパージェット1型500mmG1/4は、本機専用部品です。他製品で使用した場合、ホースの破裂、噴口の破損等が考えられますので、他製品に使用しないでください。

◀ 仕様 ▶

型式	AT-300SM	
本機寸法	H910mm×W450mm×L740mm	
質量	23.7kg	
ポンプ	形式	対向2連プランジャ式
	ポンプ吸水量	7.0ℓ/min
	最高圧力	2.5MPa
エンジン	燃料タンク容量	0.6ℓ
	使用燃料	混合ガソリン (混合比20~25:1)
	エンジン型式	新ダイワS231 SP/AS 空冷2サイクル
	エンジン排気量	22.5cc
	連続定格出力	0.51kW (0.7PS)/6000rpm
	最大出力	0.87kW (1.1PS)/7000rpm
	点火方法	電子点火
	スパークプラグ	チャンピオン CJ8Y相当
始動方法	蓄力式リコイルスタータ	
タンク車	タンク容量	30ℓ
	車輪呼び	8吋 (ノーパンクタイヤ)
	吐出ホース	20M (巻取機付)

※改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

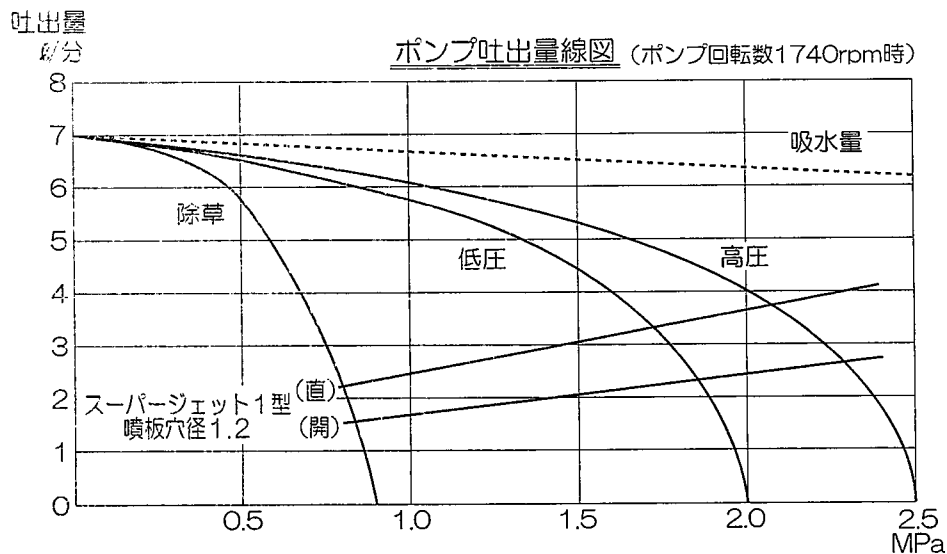
《各部の名称とラベル貼付位置》



<p>⚠ 警告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農薬の吸引や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。 ・ハウス内では必ず換気を行いながら作業してください。
<p>⚠ 注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。 ・農園芸用以外の薬品は使用できません。 ・農薬の取扱説明書をよくお読みになり、正しい希釈倍率で使用してください。 ・作業中は、人体や散布対象物以外のもにかからないよう風や周囲の状況に充分注意してください。 ・作業中、身体に少しでも異常があった場合は直ちに作業を中止し医師の診察を受けてください。

最高圧力2.5MPa [25kgf/・]

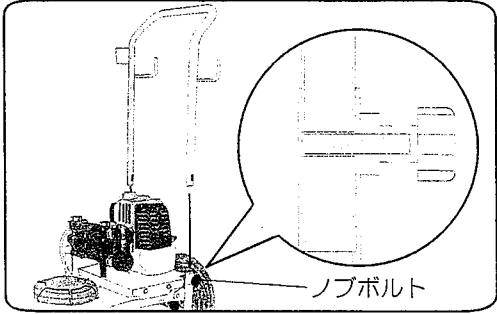
《ポンプ及び噴口性能表》



＜ 運転を始めるまえに ＞

① 部品の取り付け

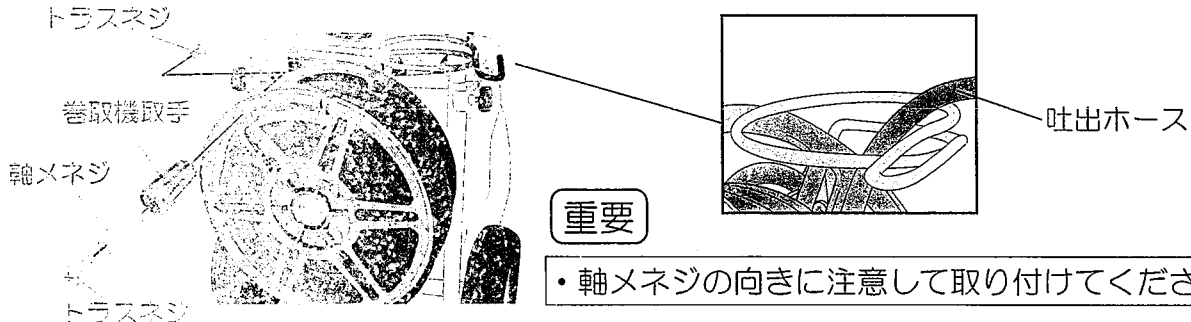
- 1) イラストのように、ハンドルを差し込み、ハンドルの穴と、ノブボルトを合わせて左右のノブボルトを締付けてください。



⚠ 注意

・ハンドルの穴にノブボルトが入っていない場合、作業中等にハンドルが外れ、事故の原因になる可能性があります。

- 2) イラストの様に巻取機取手を取り付けてください。
- 3) イラストの様に吐出ホースをホースガイドの下から通します。



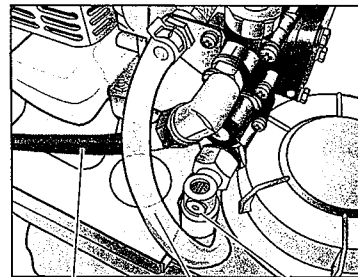
重要

・軸メネジの向きに注意して取り付けてください。

- 4) 各接続部がしっかり接続されていることを確認してください。

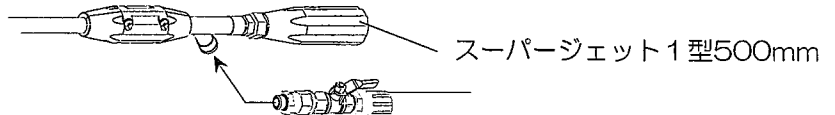
⚠ 注意

・吐出ホース、吸水ホースの取付ネジや、余水ホースがしっかりと接続されていることを確認してください。緩んでいたり、外れていますと薬液が噴き出します。
 ・吸水ホースには、必ず吸水ストレーナを取り付けてください。吸水ストレーナを取り付けない場合、ポンプが故障する原因になります。



- 5) 噴口を取り付けます。
 (ホースより戻し、ボールコックは吐出ホースに組み付けてあります。)

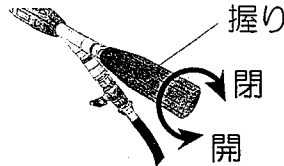
・本機には標準噴口として、スーパージェット1型500mm (噴板穴径1.2) が付属しています。他の噴口を使用する場合は、噴口によっては性能を保証できないものもありますので、《ポンプ及び噴口性能表》を参照して、スーパージェット1型500mm (噴板穴径1.2) と同等の噴口を選択してください。



- ・スーパージェット1型500mmの調整は、図のように「閉」～「広角」～「直射」が、握りにより連続調節できます。

閉：「閉」の方向に止まるまで回した状態
 広角：「開」の方向に回した状態
 直射：「開」の方向に更に回した状態

※詳しくは、付属の取扱説明書をご覧ください。

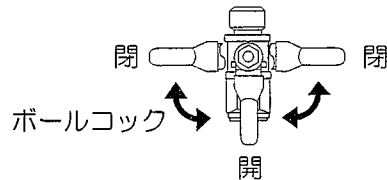


⚠ 注意

・突然の噴霧防止のため、作業終了時は必ず噴口が閉じた状態まで握りを回し、吐出ホース先のボールコックを閉じてください。
 ・作業前に燃料もれがないこと、接続部のパッキンに脱落がないこと、各部ネジ部にゆるみがないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等各部に異常がないことを確認してください。
 ・吸水ホース、余水ホースは、エンジン高温部 (マフラ等) に触れないで、無理な曲げ、よじれ、折れ、引っ張りがないようにしてください。

②ボールコックの取り扱い

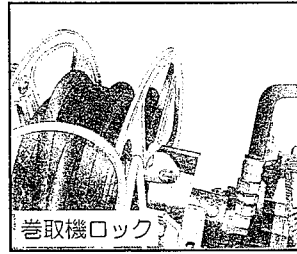
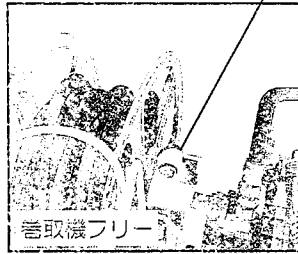
レバーの向きにより、開閉を行います。



③巻取機ストッパの取り扱い

巻取機のストッパを使用すると、運搬時の振動等による巻取機に巻いてあるホースの緩みを防ぐ事ができます。

巻取機ストッパ



重要

- ・巻取機ストッパがロック状態で巻取機を回さないでください。

④薬液の調合、充填

注意

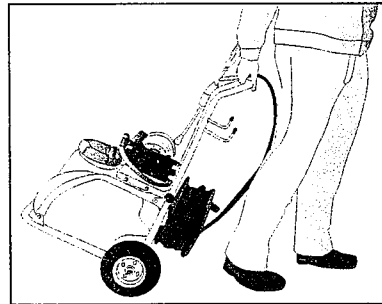
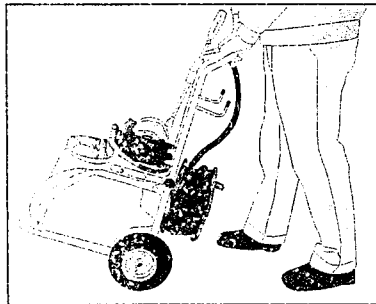
- ・防除、除草用の農園芸用薬品の散布、散水用途以外には使用しないでください。
- ・調合が適切でない薬液は、作物を傷めるだけでなく、人体にも有害になる恐れがあります。薬液の調合の際は、農薬の使用上の注意をよく読み、正しく希釈してから使用してください。
- ・薬液を入れる前に必ずエンジンを停止させ、吐出ホース先のボールコック、及び、噴口は閉じた状態にしてから薬液を入れてください。

重要

- ・土壌消毒剤、土壌燻蒸剤は、故障の原因になりますので、使用しないでください。

⑤タンク車の取り扱い

タンク車は、押しても引いてもご使用頂けます。



注意

- ・使用時に移動、または、転倒する恐れがありますので、本機は凸凹のない平らな場所に設置してください。

⑥燃料の充填

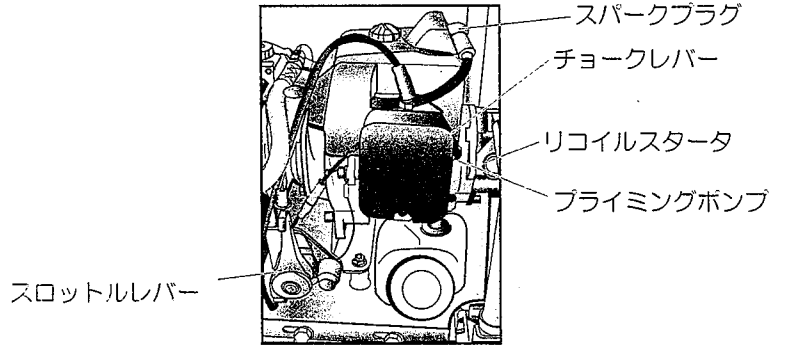
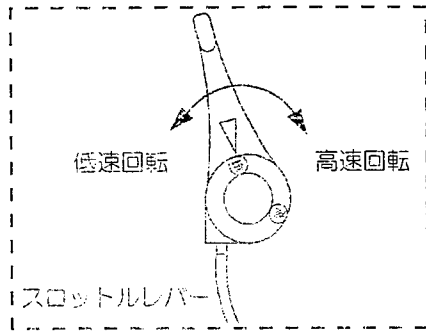
重要

- ・燃料は必ず潤滑油混合ガソリンを使用してください。
- ・混合比は、自動車用無鉛ガソリン25に対して、2サイクルエンジン専用オイル1の割合で混合してください。エンジンの性能を十分に引き出すため、使い初めの20時間前後は、オイルを多めに入れて(ガソリン：オイル=20：1)慣らし運転をしてください。
- ・燃料の混合は本体の燃料タンクで行わず、必ず別容器を用いてください。

危険

- ・火災の恐れがありますので、燃料補給時は次の項目を必ず守ってください。
 - ・燃料はエンジンを止めた状態で補給してください。
 - ・燃料補給時は火気に充分注意してください。
 - ・高温部に燃料がかからないように補給してください。
 - ・燃料タンクの補給口一杯まで燃料を入れしないでください。
 - ・燃料がこぼれたらきれいにふき取ってください。
 - ・燃料補給後、燃料キャップは確実に閉めてください。
- ・燃料を充填後、定置使用する場合や、自動車などで運搬する場合は、燃料がもれる可能性がありますので、必ず本機が倒れたり、傾かないように固定してください。

< 運 転 >



⚠ 注意

・防除作業以外の時は液漏れや、突然の噴霧防止のため、ボールコックは必ず閉じた状態にしてください。始動前には必ず確認してください。

①始動（エンジンが冷えている時）

- 1) 調圧弁ダイヤルを『始動：0』の位置に合わせます。
- 2) スロットルレバーを、高速回転と低速回転の中間位置に合わせます。
- 3) チョークレバーを『閉』の位置に合わせます。
- 4) キャブレタのプライミングポンプを、指で4～5回押して、キャブレタに燃料を十分に送り込みます。
- 5) 本機が倒れないようにエンジンを手で押さえ、リコイルスタータをゆっくり引っ張り、混合気をシリンダに送り込みます。改めてリコイルスタータを引っ張ると、エンジンは始動します。

※) 蓄力式リコイルの為、勢いよく引っ張る必要はありません。

- 6) エンジンが始動したら、低速回転で1～2分間暖気運転を行ってください。このとき、様子を見ながらチョークレバーを徐々に開いて行きます。暖気運転が終了したら、チョークレバーが『全開』になっていることを確認します。

②再始動（エンジンが暖まっている時）

- 1) 運転停止直後に再始動するときは、チョークレバーを『全開』にして始動します。始動しない場合は、エンジンが冷えている時の始動法を初めから行ってください。

重要

- ・リコイルスタータのロープは、一杯に引ききらないでください。
- ・引いたロープを手離さないで、静かに元に戻してください。

③初期吸水作業

作業開始前や薬液補充時には、ポンプ吸水作業が必要です。

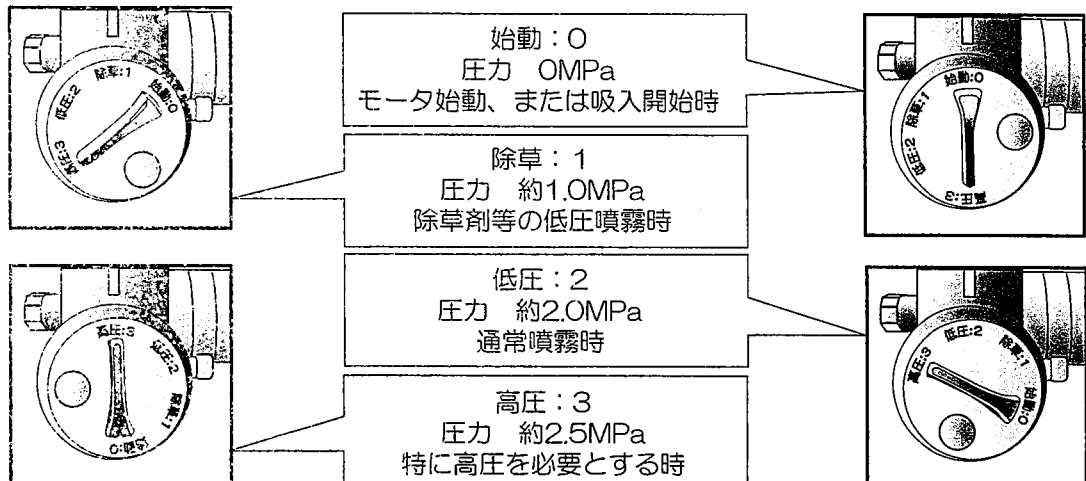
- 1) 必ず調整弁ダイヤルを「始動：0」の状態にします。
- 2) スロットルレバーを高回転側に操作し、余水ホースから薬液が出るまでポンプを運転します。

重要

- ・30秒経っても余水ホースから薬液が出ない（ポンプが吸水しない）場合は、直ぐにエンジンを停止し、P.13の【故障と対策】を参照してください。

④散布作業

- 1) 調圧弁ダイヤルは『始動：0』、『除草：1』、『低圧：2』、『高圧：3』の位置で『カチッ』と止まります。次の図表を参照し、作業条件に合わせて設定してください。
- 2) エンジン回転が安定する位置にスロットルレバーを調整してください。
- 3) ボールコック及び、噴口を開いて散布作業に入ります。



* 『高圧：3』は、定置運転で100m程度のホースを使用するとき等にご使用ください。噴口にスーパージェット1型使用時の、ホースによる圧力損失は、内径φ7.5ホースを使用した場合0.3MPa前後です。

* 上記圧力は噴口を閉じた状態での圧力です。噴霧時の圧力は、使用する噴口の吐出量によって変化しますので、ポンプ性能表を参照してください。

重要

- ・遠心クラッチを使用しています。クラッチが滑るような低速回転での使用は避けてください。（クラッチが滑ると、薬液の吐出が不安定になります。）
- ・作業中に噴霧を一時停止させるときは、噴口を閉じ、スロットルレバーを低速回転側に戻してポンプを停止させてください。燃料の節約、エンジン、ポンプの耐久性向上に役立ちます。

警告

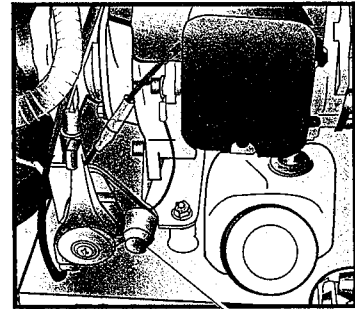
- ・農薬の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。
- ・運転中、および、停止直後のエンジン（マフラ等）は、高温になっています。やけどする恐れがありますので不用意に触れないでください。
- ・ハウス内での使用は、人体に悪影響を及ぼす恐れがありますので、よく換気をしてください。

注意

- ・作業中に噴口部を清掃、または、交換する時は、顔面などに薬液がかかる恐れがありますので、吐出ホース先のボールコック、及び、噴口を閉じ、必ず調圧弁ダイヤルを『始動：0』の位置に合わせて、エンジンを停止してから行ってください。
- ・薬液が水道、河川、水源地、池、沼、下水等を汚染しないように、また、人体や散布対象物以外のものにかからないよう、風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。
- ・作業中、作業後にめまいや頭痛を生じ、または、気分が少しでも悪くなった時は、直ちに医師の診察を受けてください。
- ・ホース類はエンジン高温部（マフラ等）に触れないで、無理な曲げ、よじれ、折れ、引っ張りがないように注意して作業を行ってください。
- ・ホースの温度は40℃以下で使用してください。40℃以上になりますと、耐圧性能が低下します。

⑤停止

- 1) ボールコック、及び、噴口を閉じます。
- 2) スロットルレバーを低速回転側に戻します。
- 3) 調圧弁ダイヤルを『始動：0』の位置に合わせます。
- 4) エンジンストップボタンを押してエンジンを止めます。



エンジンストップボタン

重要

- ・使用中に薬液が無くなったときは、速やかにスロットルレバーを低速回転側に戻し、エンジンを停止させてください。
- ・ポンプの空運転は故障の原因になります。作業中、整備点検中を問わず、30秒以上は行わないでください。

⑥使用後のお手入れと保管

※薬液タンクに清水を入れ、エンジンを運転して噴口より吐出させ、ポンプ、ホース、及び、噴口内部を洗浄します。清水が吐出しなくなったら、速やかにエンジンを停止させて、ボールコックを閉じてください。

注意

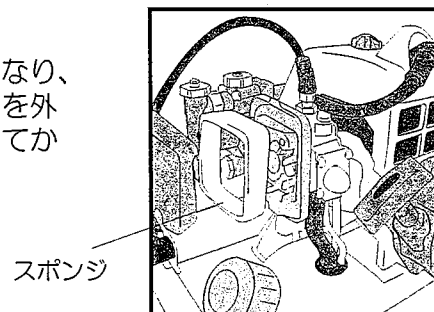
- ・前回使用した薬液がタンク、ホース、噴口等の内部に残っていると、薬害を起こす危険性があります。特に、除草剤散布に使用した後、一般防除作業に使用する場合は、残っている薬液を十分に洗い流してください。
- ・ホース内の残液を空にして、巻取機に巻いて保管してください。そのままにしておきますと、ホースの寿命を短くする原因になります。
- ・余った薬液、及び、機械の洗浄水は、水道、河川、水源地、池、沼、下水等に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。
- ・エンジンを停止しても、ポンプ～吐出ホースに圧力が残っていることがあります。この状態で接続部を取り外すと、薬液が噴き出す恐れがありますので、接続部を外す前に周囲の状況を確認し、吐出ホース先のボールコック、及び、噴口を開いて、ポンプ～吐出ホース内の圧力を抜いてください。
- ・使用後は充分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。

《整備と長期保管》

* 日常のお手入れは、《運転》の⑥「使用後のお手入れと保管」をご覧ください。
整備に関してのご不明な点は、お買い求めの販売店にご相談ください。

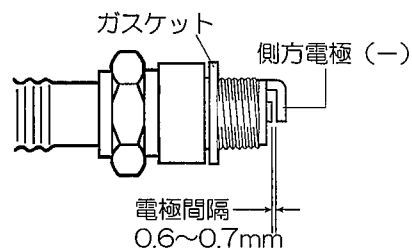
①エアクリーナ

エアクリーナ内のスポンジが汚れていると、吸気が不安定となり、エンジンの性能が十分に発揮されません。時々エアクリーナを外し、スポンジをガソリン、または、洗油で洗浄し、固く絞ってから取り付けてください。

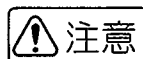


②スパークプラグ

50時間の運転を目安に、スパークプラグの点検清掃を行ってください。ワイヤブラシ等でカーボン堆積物を除去し、電極間隔を0.6~0.7mmに調整します。著しく汚れ、欠損がある場合は、スパークプラグを新品に交換してください。指定スパークプラグは、チャンピオン CJ8Yもしくは相当品です。



③配管



注意

・ホース、接続部分にヒビ、割れ、漏れがないか確認します。異常がある場合は、速やかに交換してください。

④ポンプ内部のシール類

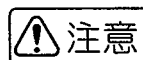
2年の使用を目安に、ポンプ内部のシール類の交換をお勧めします。シール類の交換については、お買い求めの販売店にご相談ください。
(補修パーツとして、ポンプパッキンセットが用意されています。)

⑤長期保管

長期間(60日以上)に渡って本機を使用しない時は、次の事項を実施してください。

重要

- ・薬液タンクに清水を入れ、エンジンを運転してポンプやホースを洗浄してください。
- ・冬期間の凍結防止のため、余水ホースと吸水ホース、吐出ホース(接続ホース)をポンプから外してエンジンを運転し、完全に水抜きを行ってください。この時、必要以上にポンプの空運転(30秒以上)を行わないようにしてください。
※保管時は、上記のホースを外しておいてください。
- ・燃料タンクの残留燃料を完全に抜き取ります。
- ・スパークプラグを外し、スパークプラグ孔から4~5滴のエンジンオイルをシリンダに流し込みます。スパークプラグを取り付け、リコイルスタータを2~3度引いてオイルをシリンダ内に行き渡らせます。
- ・プラスチック部品は、直射日光に長期間さらされると、著しく強度が低下する事があります。また、注意表示ラベルも変色したり、はげやすくなったりしますので、保管には充分注意してください。



注意

・本体、エンジン、ポンプの外部を洗浄し、十分に乾燥させてからカバー等を掛け、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。

＜故障と対策＞

①ポンプ

現象	原因	対策
吸水しない	タンクに薬液がない	薬液を補給する
	吸入弁、吐出弁にゴミが詰まっている	※
	ポンプ内部のシール類が摩耗、または、損傷	※
	吸水ホースの詰まり	吸水ホースを外し、洗浄する
圧力が上がらない または 安定しない	ポンプの回転数が低い	エンジンの回転数を上げる
	遠心クラッチのスリップ	※
	調圧弁の詰まり、または、摩耗、傷	※
	吸入弁、吐出弁にゴミが詰まっている	※
	ポンプ内部のシール類が摩耗、または、損傷	※
噴霧状態が悪い	圧力が上がらない	前述参照
	噴板穴の摩耗	噴板を新品に交換する
	噴口が不適切	ポンプ性能に合った噴口を使用する
液漏れ	ポンプ内部のシール類が摩耗、または、損傷	※

ポンプ内部のシール類に関しては、補修パーツ（ポンプパッキンセット）が用意されています。
お買い求めの販売店にご相談ください。

②エンジン始動不能、または始動困難

現象	原因	対策
キャブレタまでガソリンが きていない	燃料タンクに燃料がない	燃料を給油する
	プライミングしていない	プライミングポンプを4～5回押す
	燃料チューブの詰まり	燃料チューブの清掃、曲がりの矯正をする
	燃料タンクキャップの通気穴の詰まり	燃料タンクキャップを清掃する
スパークプラグに火花が飛 ばない	スパークプラグの不良	スパークプラグを新品と交換する
	スパークプラグが汚れている	スパークプラグをワイヤブラシ等で清掃する
	スパークプラグの電極間隔が不適	スパークプラグの電極を0.6～0.7mmに調整する
	スパークプラグキャップ不良、またはスパークプラグコード断線	※
	点火装置不良	※
爆発の兆候がない	チョークの開きすぎ	チョークを閉じて始動する
	キャブレタの詰まり、または調整不良	※
スパークプラグが濡れている	チョークの閉じすぎ	スパークプラグを乾燥させ、チョーク全開で再始動する
その他	キャブレタのオーバーフロー	※
	マフラの詰まり	マフラ清掃、または、交換をする（※）
	燃料、オイルの不適切	規定の燃料、オイルを使用する

③エンジンの回転不調、または出力不足

現象	原因	対策
エンジンが異常に加熱する	燃料不適切	規定の燃料を使用する
	冷却不足	冷却風通路、シリンダフィンを清掃する
	スパークプラグ不良	正規の熱価のスパークプラグを使用する（※）
	燃焼室にカーボンが堆積している	※
スパークプラグに飛び火花 が弱い	スパークプラグ不良	正規の熱価のスパークプラグを使用する（※）
		スパークプラグの清掃、電極間隔調整、交換をする
吸、排気系の不具合	エアクリーナが汚れている	エアークリーナの清掃、または、交換をする
	キャブレタの詰まり、調整不良	※
	マフラの詰まり	マフラの清掃、または、交換をする（※）

④エンジンが運転中停止する

現象	原因	対策
運転中、急停止する	ピストンの焼き付き	※
	スパークプラグ短絡	スパークプラグを清掃、電極間隔調整、交換する
エンジン回転が次第に下がり、やがて停止する	燃料切れ、または不足	燃料を給油する
	キャブレタの詰まり、調整不良	※
	燃料内異物混入	新しい燃料と交換をする
エンジン回転が急激に上がり停止する	燃料切れ、または不足	燃料を給油する

⑤エンジン停止が困難

現象	原因	対策
エンジンストップスイッチをOFFにしてもエンジンが停止しない	エンジンストップスイッチのアース不良	配線の点検、交換をする(※)
	スパークプラグ先端の赤熱	清掃、電極間隔の調整、交換をする 正規の熱価のスパークプラグを使用する(※)
	ディーゼリング	※

※印の不具合対策に関しては、お買い求めの販売店にご相談ください。
その他、不明な点は販売店にご相談ください。

動力噴霧機保証書 (大切に保管してください)

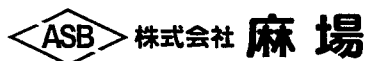
この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

弊社では、本製品を永くご使用いただくため、保証業務を行っております。

- 本製品は本廠密な品質管理と検査を経てお届けしたのですが、万一保証期間内に、注意ラベル、取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合は、商品と本保証書を添えて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- 保証期間内でも次のような場合は有料修理になります。
 - ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障、又は損傷。
 - 火災、地震、風水害、雷、その他天災地変、塩害、公害や異常電圧による故障、又は損傷。
 - 消耗部品（パッキン、リング等）の損耗交換時の部品代及び修理代。
 - 保管状態が適当でない場合の故障、又は損傷。
 - 本保証書のご提示のない場合。
 - 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を弊社の承認を得ることなく修正した場合。
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

※本保証書に記載された内容のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するもので、本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理等についてのご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動および、その後の安全活動のためにご利用させていただきますのでご了承ください。

型式 (MODEL)	AT-300SM		
製造番号			
保証期間	お買い上げ	年	月 日より
	1年間(但し、消耗品は除く)		
お客様			
フリガナ			
お名前			
ご住所 〒			
TEL			
取扱販売店			
店名/住所/電話			
修理メモ			



本社 / 〒381-8530 長野市北長池1443-2
TEL : 026-244-1317
URL : <http://www.asaba-mfg.com>